

## 外部講師リレー講座①を実施しました

令和元年6月13日（木）に、福井県立大学 地域経済研究所 所長の南保 勝 教授をお招きし、中学1年生として初めての外部講師リレー講座を実施しました。

6年間にわたる高志学のスタートにあたり、南保先生には、福井県の成り立ちや産業・経済の推移など、過去から現在に至る福井県の姿についてお話しいただくとともに、地方創生のための方向性についてアドバイスいただきました。

現在の嶺北地方は「越国（こしのくに）」が分割されてできた「越前国」に、嶺南地方は畿内をバックヤードに持っていた「若狭国」にルーツを持つ、という歴史的事実や、それに起因する現在の両地域の産業の違い、さらに現在の県内企業の活動状況や景気動向など、幅広い内容の講義を行っていただきました。生徒たちは、福井県が継体天皇以来の長い歴史を持つ地域であることや、北前船の寄港地であり、日本全体の物流拠点の一つであったことに誇らしい気持ちを抱いたようでした。

また、福井県を代表する繊維産業やめがね産業のほかにも、技術力の高い企業が集積し、それぞれが新たな分野を開拓していることにも感銘を受けていました。

講義の最後に、南保先生から「福井のことを知り、誇りやプライドを持ってほしい。日本のだ真ん中（おへそ）に位置する有利性を活かす工夫をしよう。全国的に失われつつある地域の“絆”を強固なものにし、地域の持つポテンシャルを十二分に発揮してほしい」とのメッセージをいただきました。生徒たちは故郷・福井を想う気持ちを一層強くしたようでした。

